

バックホー積込時 アームシリンダーと工場のひさしが接触・破損！

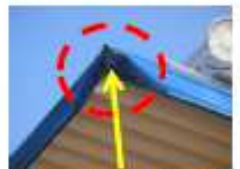
PC228US-10アームシリンダーと整備工場庇接触破損

1. 発生日時 2016年 6月 3日(金) AM8:30頃
2. 発生場所 コマツ建機販売㈱ 近畿C 和歌山支店
(和歌山県和歌山市大垣内字沢628)
3. 事故当事者 所属：〇〇運送株式会社 職種： トレーラー運転手
年齢：57歳 勤続年数：4年 経験年数：20年
免許取得・技能講習受講後：____年経過
社員区分：■正規社員 □期間社員 □派遣社員 □その他()
保有運転技能講習：大型運転免許、けん引運転免許
4. 事故概要 作業名：建設機械(PC228-10 #2542)引取り輸送
作業・安全標準書の有無：□有 ■無
6月3日(金) AM8:10頃 コマツ建機販売㈱ 近畿C 和歌山支店に到着。
輸送品はPC228-10 #2578 PC228-10 #2542の2台であり、トレーラー2台が
同時に入庫した。構内入ると手前が事務所、奥が整備工場の並びとなっている。事務所
前では朝礼が行われるため、整備工場前にトレーラーを2台並べて止めた。
AM8:15頃 PC228-10 #2578を1台目のトレーラーに積込開始。
AM8:25頃 PC228-10 #2542を2台目のトレーラーに積込開始。
AM8:30頃 歩み板を使用して積込開始。途中前進方向から旋回してバックでの積込に切り替えた。
PC228US-10がトレーラーの荷台に対して真っ直ぐになっているかを確認するため、
庇側に旋回して履帯とトレーラー荷台を確認しながら積込を行った。
PC228US-10がトレーラーの荷台に乗り切る反動でブームが跳ね上がり、アーム
シリンダーが庇に接触しそれぞれ破損した。

5. 状況写真 (写真がない場合ボンチ絵でも可)
【配置図】



シリンダーロッドの破損



庇の破損

6. 事故の原因

- ①トレーラーを並列2台並べた事で、1台は庇の近くで積込を実施した。
 - ②機械を旋回したことで、ひさしの下にアームが入り接触した。
- 詳細は調査中

7. 事故への対応

6月3日(金) AM8:45頃 コマツ建機販売 近畿C 和歌山支店 〇〇様より一報が入る。
(その後直ぐに〇〇運送より連絡有り)
納入先の〇〇 田辺置機ヤードへそのまま持ち込み、現地で
アームシリンダーを交換することになった。

AM9:00頃 下田副G長より社内関係部門へ事故報告。PC228-10 #2542が和歌山支店出発。
AM11:00頃 下田副G長、榎野課員が和歌山支店到着。謝罪及び不具合箇所(庇)の確認。
AM11:30頃 〇〇 田辺置機ヤードへ納入完了。翌日4日にアームシリンダー交換実施。
アームシリンダー及び庇の補修は、協力企業の保険にて対応予定。(見積り依頼中)